



月信

3月号



国際ロータリー第2560地区 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2560



南城山人三余集



藍沢南城の墓

越後最大の私塾 藍沢南城の「三余堂」

アヘン戦争や黒船来航、諸外国の圧力の影響でしょうか、幕府の「昌平坂学問所」や長州の「名倫館」などの藩校が幕末には250余校あったといわれ、私塾も中江藤樹の「藤樹書院」、本居宣長の「鈴の屋」、広瀬淡窓の「咸宜園」、シーボルトの「鳴滝塾」、江川担庵の「葦山塾」、緒方洪庵の「適塾」、吉田松陰の「松下村塾」などが1635～1843年の間に開塾しています。

このような背景の中で「三余堂」も柏崎市北条地区で開塾しています。開塾した人は藍沢要助(号 南城)、江戸で折衷学派*の儒学を修め文政三年(1820) 29歳で「三余堂」という学塾を開きました。三余とは「歳の余りの冬」、「日の余りの夜」と「時の余りの陰雨(雨の日)」には学問をするという意味だそうです。

入門者の出身地は、刈羽・魚沼・古志・三島・蒲原などに分布し、会津、能登、尾張からの入門者も記録されています。「南城山人三余集」には約2,000編の漢詩が収められています。

*折衷学派 江戸時代中期、荻生徂来の古文辞学(主として漢学)にあきたらず、漢・唐の字句の解釈と宋・明のそれぞれの儒説を取捨・照合して考証するという片山兼山(1730～1782)らがとなえた儒学の一派。

CONTENTS

- ガバナー・メッセージ …… ガバナー 植木 康之
- ローターアクト第40回地区大会を終えて …… 本山 秀樹
- 東山年度第2回地区運営会議の報告 …… 羽深 耕時
- ハイライトよねやま
- 植木年度第4回地区運営会議の報告 …… 佐藤 博司
- 出席報告

発行日：2010年3月1日

発行者：国際ロータリー第2560地区 2009～2010年度植木ガバナー 地区幹事 宮田 康雄

ガバナー事務所 〒945-0051 新潟県柏崎市東本町1-2-16 モーリエ2 5F

TEL 0257-21-6065 FAX 0257-21-6066 E-mail ueki@rid2560niigata.jp

月信 第九号

「識字率向上月間に向けて」

—— 「ちがい」を大切に ——



国際ロータリー

第2560地区 2009-2010年度

ガバナー

植木 康之

私達人間は一人ひとり皆ちがっています。顔や好みはもちろん、得意なこと、考えかた、生き方もちがいます。この「ちがい」が個性で有り、自分らしさで有り、一人ひとりが社会の中で自分らしさを表現する事が、人生を豊かにすると言えましょう。

私達は社会の中で暮らしていますから、当然社会と調和して生きる事が必要です。

しかし調和する事は、自分らしさを発揮しないと言う事では有りません。

逆に私達一人ひとりが、ほかの人々の中で、自分らしさを生き生きと表現する事で、本当の調和が生まれるのではないのでしょうか。

いつの間にか、自分が何をしたいかを考えるのではなく、回りの人から「ちがう」とか「遅れている」と思われないように、と言う事に一生懸命になっていないのでしょうか？

「みんなと同じでなければならぬ」と言う気持ちは、子育てにも現れているようです。自分の子供が「みんなと同じ」だと安心し、「一人だけちがう」と不安になる事が有りませんか。子供達は敏感にこうした大人の気持ちを感じ取り、無意識のうちに「みんなと同じ」になろうとしているのではないのでしょうか。また時には、自分らしさを出したために、一時的に仲間はずれにされる事が有るかも知れません。嫌われる事も有るかも知れません。しかし、それで不安になり自分らしさを出す事をやめ「みんなと同じでなければ安心出来ない」と考えてしまうのは、マイナスの考え方です。

もっとプラスの方向に考えてみてはどうでしょうか。その経験を、自分自身が成長して行くための絶好の機会だと考えてみてはどうでしょうか。どうすれば皆と協調しながら、自分らしさを発揮していけるかと考えるための貴重な経験として生かして行くのです。この経験を通して、私達は自分が自分らしさを発揮するためには、逆に自分と違う考え方をする人を理解し、その「ちがい」を尊重しようと努める事が、いかに大切であるかを知ります。そしてお互いの「ちがい」を認め合ったうえで、協調して行けるように考え、話し合うようになるのです。

その積み重ねによって、私たちはそれぞれの「ちがい」を尊重し、他の人がその人らしさを発揮するのを温かく見守る、広い心が持てるようになります。これは同時に、何が自分らしさなのかを、はっきりと理解出来るようになる事でも有ります。私たち一人ひとりが、自分と言う者をしっかりと理解し、他の人との「ちがい」を受け入れられるようになる事が、誰もが伸び伸びと調和して生きられる豊かな社会を築き、国際社会の中でも調和して行く事につながるのです。そして私たちは、一人ひとりの「その人らしさ」を、かけがえのない貴重なものと感じるようになり、広く全ての人をいつくしみ、愛せるようになるのではないのでしょうか。

2010-11 東山年度 第二回地区運営会議の報告

国際ロータリー第2560地区
2010-11 年度地区幹事

羽深 耕時

平成22年2月6日(土) 13:00~15:00、上越市のデュオ・セレッソにて、大雪の中東山年度第二回地区運営会議を開催致しました。まず、東山昕也ガバナー・エレクト挨拶から幕を開け、続いて植木康之ガバナー挨拶ならびに石本隆太郎ガバナーノミニーが紹介され、ご挨拶いただきました。

東山ガバナー・エレクトより1月18日~24日にアメリカ・カリフォルニア州最南部サンディエゴ市(San Diego)のマンチェスタ・グランドハイアットホテル開催された国際会議報告がありました。その際に「地域を育み、大陸をつなぐ」というRIテーマも発表され新年度運営方針についての発表がありました。

またGSE(研究グループ交換)の実施についてRIの指導によってオランダ1550地区と東山年度ならびに石本年度の2年にわたり行うことが発表されました。その後、植木ガバナーよりローターアクト全国大会とフィリピンとのマッチンググラントについて説明されました。

東山年度スタッフより年度の方針が示され、地区運営会議は盛会裡に幕を閉じました。不慣れなため、至らない点があったことと存じますが、ロータリー精神に免じてご了承くださいませようお願いいたします。今後とも東山年度を宜しくお願い申し上げます。



2010-11 植木年度 第4回地区運営会議の報告

2月11日（木）建国記念日に柏崎市岬館において、植木年度第4回地区運営会議が行われました。参加者は、41名で、植木ガバナーの挨拶から始まり、渡辺研修リーダーより「勉強はシッカリ、楽しみは長く」と云うスピーチで盛り上がり、東山GEの熱のこもったRI会長方針説明が行われました。

その後、遠山AG、上村AG、大島AGより、半期報告が行われました。

次に各大委員長より予定時間をオーバーするほど、熱心な半期報告をお話戴きました。

植木年度の4大実行委員長より簡潔に御礼と報告を戴き、宮田幹事より、上期の報告、下期の予定を発表し、神林資金委員からは半期決算報告の後、会議は終了いたしました。

各委員会共、今年度は多くの事業を実行した為、発表時間も長くなり、懇親会の時間も押ししました。

事務局 佐藤 博司



第 2560 地区ローターアクト第 40 回地区大会を終えて

地区ローターアクト委員長 本山秀樹

国際ロータリー第 2560 地区ローターアクト第 40 回地区大会が、去る 2 月 13 日に上越市にあるデュオ・セレッソを会場に提唱ロータリークラブ他多くのロータリアン並びに群馬、福島など友好地区ローターアクト、そして第 2560 地区 11 クラブのアクターなど 170 名近い皆様のご出席をいただき盛大に開催することが出来ました事を心より感謝申し上げます。また、今大会のターゲット「躍動」のもと大会準備に当たられたローターアクト丸山地区代表はじめ役員の皆さんには大変ご苦勞様でした。お陰様で大変素晴らしい第 40 回の記念地区大会でありました。



当日の記念式典では田原地区大会実行委員長の開会宣言、高田 RC 高橋会長様の歓迎の挨拶に始まり、稲荷上越副市長様のご来賓挨拶、第 2560 地区植木ガバナー様のご祝辞をいただきました。引き続き、直前地区役員への感謝状贈呈、優秀アクター・クラブの表彰を行い記念式典は無事終了しました。続いて、郷土史研究家、越後一の宮居多（こた）神社宮司、^{はながさきもりあき}花ヶ前盛明様から「上杉謙信公・直江兼続公から学ぶ生き方」と題しご講演をいただきました。昨年の NHK 大河ドラマ「天地人」の資料提供を担当され、出演者との交流、舞台裏の裏話などユーモアを交えお話いただき楽しいご講演でした。



その後、ローターアクトの地区活動、地区 11 クラブの一年間の活動がプロジェクターを利用して分かり易く報告されました。

懇親会は、アクターの若さ溢れる演出によって熱気に満ちた会でした。特に、地区役員による「矢島美容室」の物真似の歌と踊りに、会場はおおいに盛り上がりボルテージは最高潮に達しました。遠方より来られた友好アクターの方々も喜ばれたことと思います。とても和やかに友情を育む事の出来た懇親会でした。

最後に、ご来場いただいた皆様に感謝申し上げ、今回の地区大会を機会に提唱ロータリークラブには尚一層のご支援と、会員増強のご協力をお願い申し上げます。





ハイライトよねやま 120

1 寄付金速報 — 下半期も厳しいスタート —

1月までの寄付金は、前年同期と比べて14.5%減、約1億7千万円の減少となりました。普通寄付金が1.9%減、特別寄付金が20.7%減と相変わらず厳しい状態には変わりありません。

1月は主に普通寄付金が納入される月であり、全クラブの81%にあたる1,864クラブからご納入いただきましたが、納入率が60%台にとどまっているところも2地区あります。多地区合同奉仕活動として日本の全34地区が参加している米山奨学事業のご理解を深めて頂き、普通寄付金のご送金をよろしくお願い申し上げます。

2 4月からの新奨学生が決定！

4月からの新規米山奨学生の面接選考が各地区の選考委員会によって行われ、1,550名（クラブ支援奨学金17名を含む）の応募に対し、648名の合格が決定しました。

合格者は、博士課程146名・修士課程330名・学部課程147名、クラブ支援奨学金が9名、地区奨励奨学金が16名です。このほか、海外学友会推薦による2名の候補者が決定しています。国籍・地域別では、中国が52.3%（前年度48.3%）、韓国15.3%（13.8%）、台湾5.5%（6.3%）、その他26.9%（31.7%）です。中国・韓国籍の学生の割合が昨年に比べて増加した理由は、今年度から同国の学部生にも応募資格を与えたことによって応募数が増えたことによると考えられます。

今後、辞退者が出るなど多少の変動が見込まれますが、今回の合格者、そして昨年度からの継続奨学生171名を合わせた819名が、2010学年度の奨学生として新たなスタートを切ります。

3 台湾の学友が「総統科学賞」を受賞！

2009年12月、台湾で「エビ養殖の父」と呼ばれる米山学友、廖一久さん（1965-68/田原RC）が、第5回総統科学賞を受賞しました。この賞は、台湾の数理科学・生命科学・社会科学・応用科学分野において、二年に一回、顕著な功績を残した研究者に贈られる、台湾で最も権威ある科学賞です。

廖さんは来日後、1962年に東京大学修士課程に入学。博士課程修了までの6年間を渥美半島にある東大水産実験所で過ごし、車エビの研究で大きな研究成果を残しました。1968年に台湾に帰国後は、台湾省水産試験所の研究員として、世界に先駆けてブラックタイガーエビの養殖を成功させ、ボラおよびサバヒー等の人工繁殖世界記録を打ち立てるなど、台湾はもとより、世界の養殖業に多大な影響を与えました。研究者としてだけでなく、国立台湾海洋大学教授、台湾水産学会理事長、財団法人中華農学会理事、中央研究院院士など、研究・教育において40以上の重職を歴任し、国民から尊敬と信頼を得ています。



馬英九総統からトロフィーを受け取る廖さん(右)

【廖一久さんからのメッセージ】 私が学んだ50年前は、台湾も日本も貧乏な時代でした。米山奨学金のお陰で勉学に励むことができ、7日7晩寝ずにエビの研究に没頭したこともありました。その成果として、帰国後、エビや魚などさまざまな養殖に成功し、世界的名声を得ることができました。日本のロータリアンの皆さまに心より感謝を申し上げます。

4 PETSではDVDを使って米山奨学事業のアピールを!

各地区で会長エレクト研修セミナー(PETS)が開催される季節となりました。米山奨学会では例年、PETSで“米山奨学事業の説明時間を設けていただく”ことをお願いしています。

今年は、次年度のクラブ会長・幹事、クラブ米山記念奨学委員長の皆さまへの配布資料として、「豆辞典」と「事業紹介DVDチラシ(申込書付)」の2点をご用意しました。また、DVD「すばらしい贈り物」の短縮版(12分 ※説明者用シナリオ付き)の活用を呼びかけ、すでに活用を申し出てくださった地区が9地区あります。上映を機に、現在好評を得ている事業紹介DVDの存在をクラブ会長に認識していただき、例会等で上映していただきたいと考えています。

お問い合わせはこちら

『DVD「すばらしい贈り物」の短縮版(12分)と説明シナリオ』をご希望の方は、事務局まで(TEL:03-3578-8281 担当:栗原)

5 中国経済専門家・米山学友の柯隆さんが東京RCで卓話

富士通総研 経済研究所 主席研究員の柯隆^{かりゅう}さん(1992-94年/名古屋大学大学院/名古屋大須RC)が2月3日(水)、東京ロータリークラブの例会で『中国経済のゆくえー危機からの回復と課題』と題する卓話を行いました。

柯隆さんは、中国マクロ経済研究の第一人者として知られ、経団連や経済同友会の会合での講演を引き受けることも多く、今回の卓話も、柯さんの講演を聴いてファンになったという会員からの依頼で実現しました。

「現在の中国経済を一字で表すなら何か」との問いに「膨」と答えたという柯さん。事実に基づく客観的な分析と的確な言葉で言い表すセンスが高く評価されているとの評判通り、30分という限られた時間の中、現在の中国経済事情とそれを取り巻くリスク要因を明快に分かりやすく解説し、終了後は会場から万雷の拍手が送られました。当日は、米山奨学生時代のカウンセラーであった、浅野 彰氏(名古屋大須RC)も駆けつけ、会場で柯さんの卓話を見守りました。



柯隆さん(右)と浅野カウンセラー

【柯隆さんからのメッセージ】 東京ロータリークラブで卓話をさせていただき、米山奨学生の時代のことを思い出しました。ロータリアンの精神を受け継ぎ、卓話でいただいた講演料を中国で植林している日本のNGOに寄付させていただきました。改めて皆様に感謝を申し上げます。

※柯隆さんの卓話(要約)は、下記の東京RCのホームページに2月末頃掲載予定です
<http://www.tokyo-rc.gr.jp/jspeech/jspeech.htm>

中国学友会総会・懇親会 in 上海 ご案内ページをHPに掲載しました!

2010年7月17日(土)、上海で開催される中国学友会総会・懇親会にぜひご参加ください!

万博史上最大規模といわれる上海万博への訪問と合わせ、中国の学友たちとの交流を深めませんか? 中国の学友たちの活躍をその目で見、彼らの思いを直接聞くチャンスです! 詳しくはこちら↓↓↓

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/sp-info/index.html>



(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3F

Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281
E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当: 野津・峯

新 会 員 紹 介

期間中に、事務局へご連絡戴いた会員様は、次の方々です。(順不同)

所属RC	入会日	氏名	職業
三条RC	2010.2.5	佐藤 純二	(株)佐藤商店 代表取締役
津南RC	2010.1.4	山崎 美枝子	松之山小学校 校長
新井RC	2010.2.8	藤井 竜太	(株)かわらや 神の宮温泉かわら亭 営
越後春日 山 RC	2009.11.19	梅川 ゆき子	(有)梅川金属化工 取締役

新 会 員 お 写 真



佐藤 純二



山崎 美枝子



藤井 竜太

訃 報 会 員

期間中に、事務局へご連絡戴いた会員物故者は、次の方々です。故人のご冥福をお祈りいたします。
(*敬称は省略いたします。)

所属クラブ：新潟RC
ご訃報日：2010.1.27
氏 名：堀井 欣一

地区ロータリーの友委員からのお願い

「ロータリーの友」編集の取材情報収集にご協力ください！

ロータリーの友では、各クラブの活動紹介(ロータリーアットワークなど)や俳壇・歌壇・柳壇などへの投稿は従来と変わらずにお願いをしながら、それらに加えて新たに、様々なテーマに沿った編集部の独自取材による特集記事を募集しております。

テーマ等、詳しくはホームページ【事務局お知らせ】をご覧ください。

ホームページ事務局お知らせページURL

<http://www.rid2560niigata.jp/organizer/index/?page=3#item588>

また、全国のクラブから情報が寄せられるため、お送り頂いた情報が、全て即時に採用されるということは残念ながらお約束できませんが、お願いするテーマが多岐にわたっているため、新たな切り口で違うテーマの特集に組み入れたり、来年度以降の特集として生かされる場合もあります。皆様の情報をお待ちしております！

第2560地区 2009-10年度 1月末時点出席報告

R	C	例会数	出席率	会員数			
				7月1日現在	1月末日現在	女性	増減
第1分區(9クラブ)			83.46	327	340	25	13
1	新発田	3	100.00	78	80	0	2
2	村上	1	84.78	33	37	6	4
3	水原	3	77.90	24	24	1	0
4	中条	3	89.52	34	35	2	1
5	新発田城南	4	92.77	43	42	5	-1
6	豊栄	4	83.00	24	24	3	0
7	新発田中央	4	84.60	43	47	2	4
8	中条胎内	4	77.68	25	27	3	2
9	村上岩船	3	60.87	23	24	3	1
第2分區(9クラブ)			86.28	398	401	18	3
10	新潟	4	87.57	78	83	0	5
11	新潟東	4	100.00	54	54	0	0
12	新潟南	3	92.69	72	69	0	-3
13	佐渡	4	71.00	14	13	0	-1
14	新潟西	4	83.60	29	32	0	3
15	佐渡南	4	89.77	44	44	5	0
16	新潟北	3	82.00	38	37	0	-1
17	新潟中央	4	81.25	28	28	3	0
18	新潟万代	3	88.62	41	41	10	0
第3分區(6クラブ)			72.36	162	160	8	-2
19	新津	3	71.80	25	26	1	1
20	村松	4	75.00	8	8	0	0
21	五泉	4	61.00	27	26	3	-1
22	白根	4	75.94	54	53	1	-1
23	新津中央	4	85.43	36	35	2	-1
24	阿賀野川ライン	4	65.00	12	12	1	0
第4分區(11クラブ)			77.69	401	404	24	3
25	三条	3	86.00	54	55	0	1
26	燕	4	62.92	29	32	1	3
27	加茂	4	80.40	36	37	5	1
28	三条南	3	88.44	54	54	0	0
29	分水	4	87.88	36	33	2	-3
30	見附	4	75.00	17	17	0	0
31	吉田	4	84.90	41	40	5	-1
32	三条北	4	70.71	67	70	4	3
33	巻	4	70.00	18	15	0	-3
34	田上あじさい	4	66.60	8	9	2	1
35	三条東	4	81.71	41	42	5	1

R	C	例会数	出席率	会員数			
				7月1日現在	1月末日現在	女性	増減
第5分區(7クラブ)			91.05	318	320	23	2
36	長岡	4	86.65	42	43	2	1
37	柏崎	3	100.00	45	48	0	3
38	長岡東	3	87.80	74	72	6	-2
39	柏崎東	3	98.61	45	47	1	2
40	栃尾	4	78.57	20	20	0	0
41	長岡西	3	86.82	47	45	3	-2
42	柏崎中央	4	98.89	45	45	11	0
第6分區(6クラブ)			86.15	150	150	9	0
43	十日町	4	94.80	27	29	0	2
44	小千谷	3	76.18	35	36	4	1
45	雪国魚沼	3	84.00	23	23	2	0
46	十日町北	3	97.20	26	24	1	-2
47	津南	4	93.47	24	24	2	0
48	越後魚沼	4	71.25	15	14	0	-1
第7分區(9クラブ)			86.02	331	342	17	11
49	高田	3	100.00	75	77	0	2
50	直江津	4	79.13	51	48	2	-3
51	新井	3	79.48	37	40	2	3
52	糸魚川	4	78.86	33	34	0	1
53	妙高高原	5	85.00	7	8	0	1
54	高田東	3	85.37	40	39	2	-1
55	糸魚川中央	4	83.82	36	39	0	3
56	頸北	3	100.00	16	16	1	0
57	越後春日山	4	82.50	36	41	10	5

クラブ数	57
7月1日現在会員数	2,087
1月末日 現在会員数	2,117
女性会員数	124
純増減会員数	30
当月平均出席率	83.24